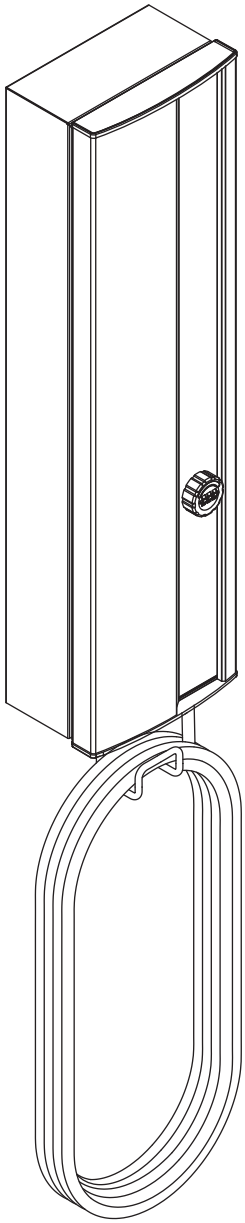
取扱説明書

Pit ケーブル付 MODE3 タイプ

EVP-1GTA ／ EVP-1GTVA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

※この説明書は、必ず保管していただくようお願いします。



もくじ

はじめにご確認ください

安全上のご注意（必ずお守りください）…… 2

ご使用前に

はじめてお使いになるときは …… 7
各部の名称 …… 7
ドアの開けかた …… 9
インフォメーションパネルの見かた …… 10

充電方法

充電開始 …… 12
充電終了 …… 13

必要なとき

故障かな？と思ったら …… 14
お手入れのしかた …… 15
日常点検・定期点検 …… 15
仕様 …… 16
品質保証 …… 16
お問合わせ先 …… 20

安全上のご注意 - 1

安全なご利用のために 必ずお守りください。

安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、安全注意事項ランク「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

してはいけない　気をつける　分解禁止

必ず守る　水ぬれ禁止　アースせよ

■保守・点検上のご注意

- 安全にご使用いただくため、日常点検・定期点検は必ず実施してください。
- 施工工事店様にて保守・点検を実施する際は、取扱説明書（本紙）とあわせて施工説明書もご確認ください。
- 「日常点検・定期点検」（P.15)に従って点検を実施し、異常や不具合があれば使用せず、直ちに「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

⚠危険

有資格者（電気工事士※）以外の電気工事は法律で禁止されています。
※工事内容や規模によってはこの限りではありません。

単相AC200V電源専用です。単相3線電源よりAC200Vを2線で取出して配線ください。三相電源には接続しないでください。
動作不良や故障の原因となります。

定期点検のときは本製品に電気を供給している給電元ブレーカを必ずOFFにしてください。
感電のおそれがあります。

⚠警告

線間の絶縁抵抗測定は、製品から配線を外して配線を測定してください。
配線を外さずに測定すると破損のおそれがあります。対地間の絶縁抵抗測定は、製品に配線を接続したまま250Ｖ以下で測定してください。500Ｖ以上の測定は破損のおそれがあります。

電源線を配線する際は、必ず分電盤に専用回路を設け、給電元に高速高感度形（0.1sec 15mA）の漏電ブレーカ（定格200V 20A）を設置してください。

感電防止および車両との信号授受のため、必ず接地工事（D種）をしてください。
動作しないことがあります。

⚠注意

国外では使用しないでください。
日本国内専用です。

電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しないでください。

使用を終了した製品は、万一の場合にそなえ、放置せずに撤去してください。

動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。

植栽などの土がかからないようにしてください。

積雪時は適宜、除雪してください。

有機溶剤、切削油、薬品等のかかる場所または充満した場所では使用しないでください。また、本製品外装部品の耐薬品性は下表を参考にしてください。

薬品など	性能	薬品など	性能	薬品など	性能
弱酸	○	アルコール	×	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	油	×
強アルカリ	×	灯油	×	有機溶剤	×

○: 実用に耐える
×: 使用に適さない
（ヒビ、割れの発生する可能性有り）

設置場所の環境条件により差が生じる場合がありますので、ご使用の際は必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してからご使用ください。故障の原因となる可能性があります。

■充電コネクタ・充電ケーブル取扱いのご注意

⚠危険

破損した充電コネクタ、充電ケーブルは使用しないでください。
感電や火災のおそれがあります。破損した場合は直ちに弊社指定業者による修理・交換が必要ですので、「お問合わせ先」(P.20)までご連絡ください。

充電コネクタ端子部に触れないでください。
感電のおそれがあります。

充電コネクタ端子部を雨などでぬらさないでください。また、ぬれた手で使用しないでください。
感電のおそれがあります。

⚠警告

充電コネクタや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。
感電や火災のおそれがあります。

強く引張る、ねじるなど、充電ケーブルに無理な力を加えないでください。
破損し、感電や火災のおそれがあります。

充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合は、エアスプレーなどで除去してください。
異物やほこりが付着したままご使用になりますと、感電、火災、故障の原因となります。

充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で使用してください。

⚠注意

充電ケーブルで足を引掛けないよう、ご注意ください。

コネクタ収納部には、指、工具、異物などコネクタ以外のものは入れないでください。
故障、けがの原因になります。

充電コネクタを使用しない場合は、ボデーのコネクタ収納部に収納してください。

充電ケーブルは地面に触れないように巻きつけてください。足の引掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。

製品や車両から充電コネクタを抜く時は、充電ケーブルを引張らずに行ってください。

充電ケーブルにねじれが生じた場合は、無理に引張らず、ねじれを解消させてから使用してください。
充電ケーブルが断線するおそれがあります。

安全上のご注意 - 2

■使用上のご注意

⚠危険

通電中に端子部に触れないでください。
感電、誤動作の原因になります。

こどもなど不慣れな方だけで充電作業を行わないでください。

充電コネクタを車両に接続したまま発車させないでください。
故障、感電、けがの原因となります。

地震、台風、落雷、浸水など災害が発生した時には、安全が確認されるまで製品を使用しないでください。
故障、感電、けがの原因になります。

電源復帰時に製品の安全性が確認できない場合は、製品に触れないでください。
故障、感電、けがの原因になります。

分解、改造は絶対に行わないでください。
感電や火災の原因となります。

製品を他の場所へ移動させる場合は、必ず有資格者（電気工事士※）が行ってください。
故障、感電、けがの原因になります。（※工事内容、規模によってはこの限りではありません。）

定格容量を守ってご使用ください。
定格容量を超えての使用は感電、火災のおそれがあります。

充電は車両の電源が切れている状態で行ってください。
故障、感電、けがの原因となります。

部品の交換は必ず有資格者が行ってください。

エラーランプが点灯した場合は、「■エラーについて」（P.14）を確認し、適切な処置を行ってください。

⚠警告

高圧洗浄は絶対にしないでください。
感電や故障の原因になります。

弊社指定部品以外の取付けは行わないでください。
強度不足など不具合が発生する原因となります。

本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ず本製品の漏電ブレーカと給電元ブレーカをOFFにし、本製品への電源供給を停止してから行ってください。
感電や故障の原因になります。

充電をする際は、車両のパーキングブレーキなどを利用し確実に駐車してください。
感電や故障の原因になります。

異臭、発熱、変色、変形などの異常が現れた場合は、直ちに使用を中止し「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

ドアを必ず閉めてください。
水滴の浸入や風によるドアの破損により、故障、感電、けがの原因になります。

⚠注意			
⚠	**直射日光により、表面が高温になるおそれがあります。炎天下での使用の際はご注意ください。**		**本製品をご利用の前に車両の取扱説明書をご確認ください。**
	強い衝撃を与えないでください。 故障、火災の原因になります。		**ドアで手や指を挟まないように、注意してください。** けがの原因となります。
	上に乗ったり、もたれたりしないでください。 破損し、事故につながるおそれがあります。		**ドアでケーブルを挟み込まないようにしてください。** ケーブルを破損する原因となります。
	たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。 製品を損傷するおそれがあります。		
	布や、布団、衣服などで覆わないでください。 故障の原因となります。		
⃠	**製品に貼付してある銘板シール（製造年月、製造番号等の記載シール）をはがしたり、汚したりしないでください。**	❗	
	クリーニングする際は、ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。 製品を損傷するおそれがあります。		
	高精度な電子機器の近くに設置しないでください。 電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：補聴器、その他医療用電気機器、火災報知器）		
	植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器（ICD）をお使いの方は、充電器本体部からの電波が作動に影響を与えるおそれがありますので、充電中は密着するような姿勢はとらないでください。		

■その他のご注意

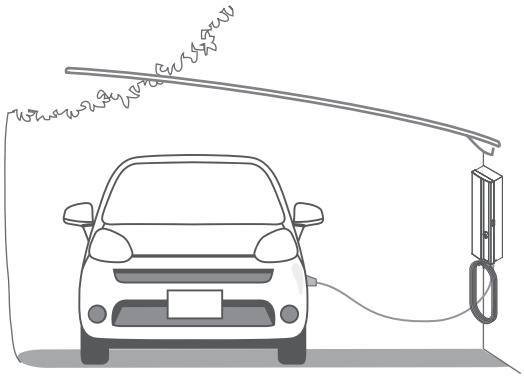
- 製品は状態の表示に LED ランプを使用しています。輝度、色合いは使用環境温度により変動することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 充電コネクタは約 1 万回（5 ～ 8 回／日で 4 年程度）で交換が必要です。ただし、使用条件・使用場所で異なります。異常や不具合がありましたら、「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。
- 製品は予告なく、付属品を含め、製品の全部または一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

はじめてお使いになるときは

●本製品をご利用の前に車両の取扱説明書をよくお読みの上、車両の取扱説明書に従い作業を行ってください。

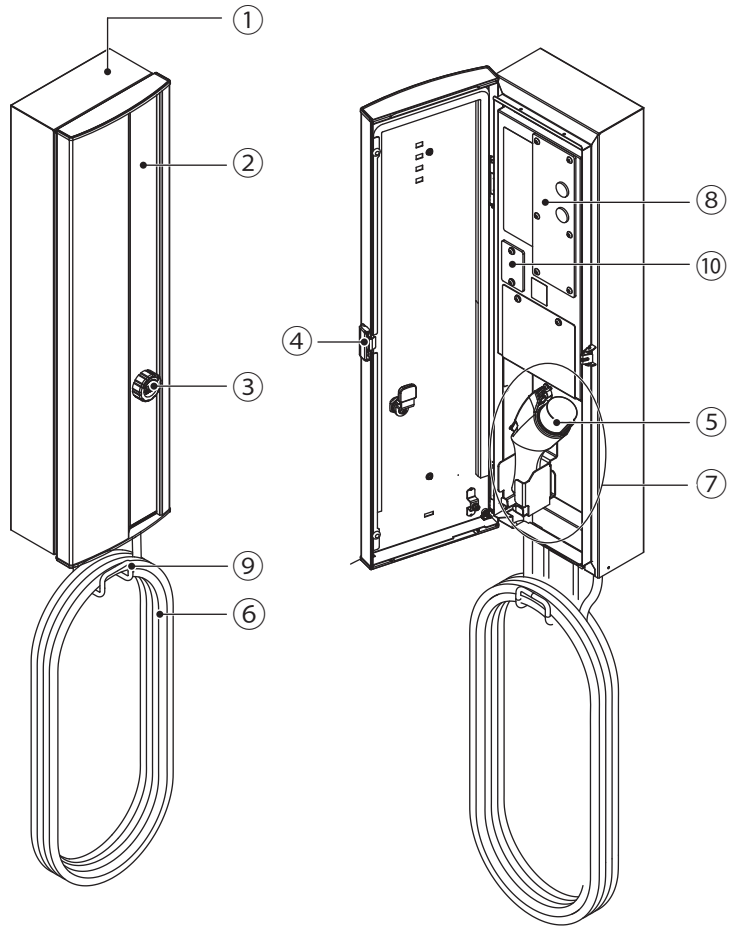
●車両の充電ＭＯＤＥについては、車両の取扱説明書でご確認ください。

●対象車種について（2013年10月時点）
国内主要EV・PHEV全てに使用可能です。
最新の対象車種については弊社ホームページでご確認ください。



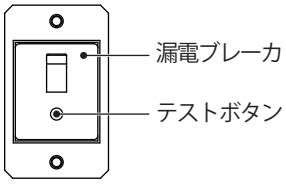
イメージ

各部の名称



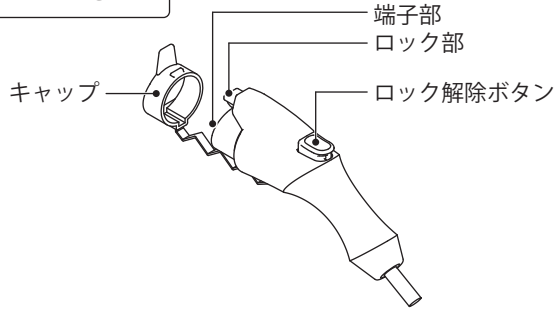
部品名	
①	ボデー
②	ドア
③	ダイヤル錠
④	ラッチ
⑤	充電コネクタ
⑥	充電ケーブル
⑦	コネクタ収納部
⑧	インフォメーションパネル
⑨	ケーブルフック
⑩	メンテナンスカバー

メンテナンスカバー内

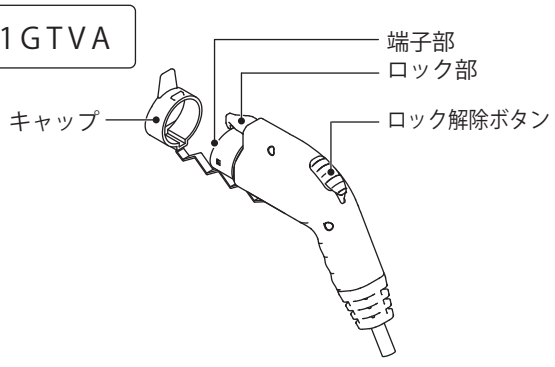


充電コネクタ

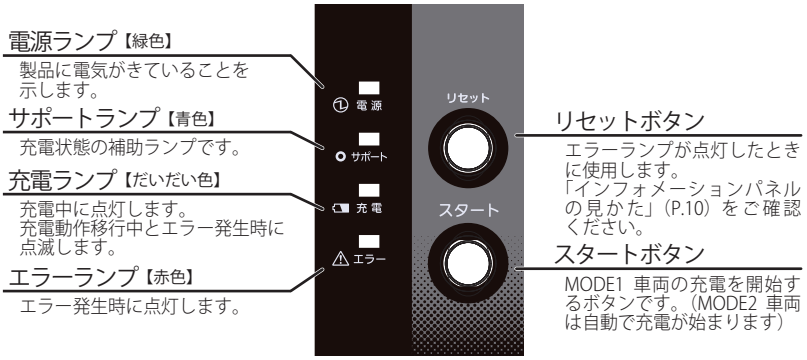
EVP-1GTA



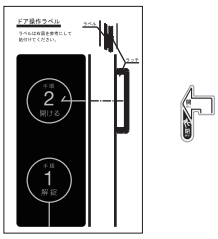
EVP-1GTVA



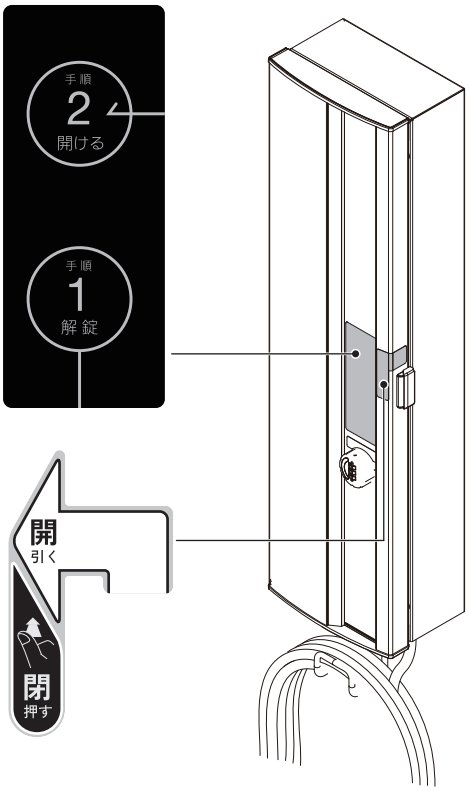
インフォメーションパネル



■付属品

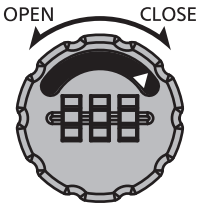
部品名	施工説明書	取扱説明書（本紙）	L型レンチ	付属品ラベル
				
数量	1部	1部	1個	各1枚

付属品ラベルは、お好みにより下記を参考に貼付けてください。



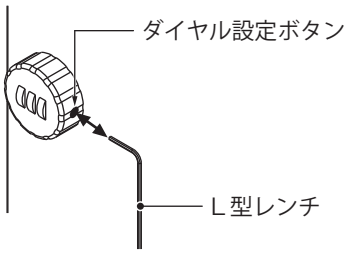
ドアの開けかた

■ダイヤル錠の解除



ダイヤル錠を左にまわすと開錠状態になります。
右にまわすと施錠状態になります。

開錠番号設定方法

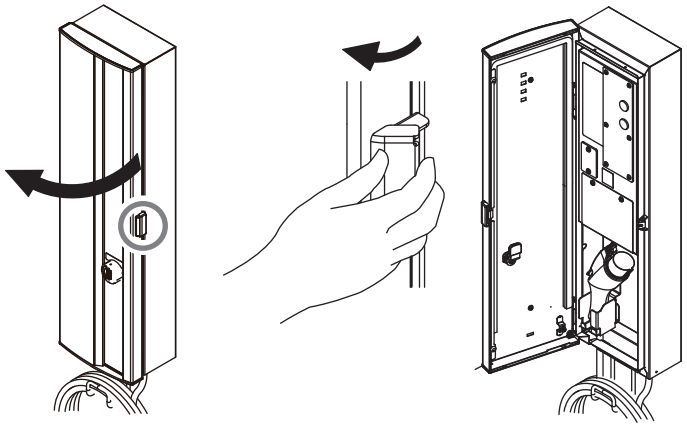


①開錠番号が合っていることを確認し、ダイヤル設定ボタンをL型レンチで押します。
（出荷時の初期設定は０００です）
②ダイヤル設定ボタンを押したまま、好みの番号に設定し、ダイヤル設定ボタンからL型レンチを引くと開錠番号が変わります。
③開錠番号を忘れると開錠できなくなります。下記に開錠番号をお控えの上、大切に保管してください。

開錠番号
お客様控え

■ドアを開ける

ラッチに指を掛けて、手前に引いてください。

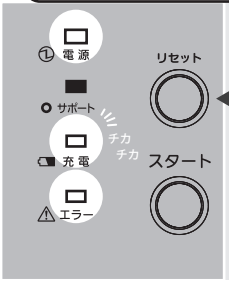


インフォメーションパネルの見かた

インフォメーションパネルは、”充電中”や”エラー”などの状態を表示します。

ランプの表示	電源ランプ（緑）と サポートランプ（青）が点灯	電源ランプ（緑）と サポートランプ（青）と 充電ランプ（だいだい）が点灯	全てのランプが消灯 （点灯していない）	電源ランプ（緑）が点灯 充電ランプ（だいだい）が点滅 エラーランプ（赤）が点灯
状況	○充電ができます。 （待機中）	○正常に充電されています。 （充電中） 車両の状態によってはサポートランプが消灯することがあります。	○製品に電気がきていません。 停電や故障など、様々な原因が考えられます。「故障かな?と思ったら」（P.14）をご確認ください。	○製品がエラーを検出しています。

エラーランプ（赤）が点灯したら



押す　リセットボタンを１回押す　▶▶▶　数秒間エラー診断を行います。

充電ランプ（だいだい）と
エラーランプ（赤）が消灯
サポートランプ（青）が点灯

▼

正常な状態になりました。
充電可能です。

充電ランプ（だいだい）とエラーランプ（赤）が消灯し、サポートランプ（青）が点灯したら充電が可能（待機中）になります。

※ただし、その後もエラーランプ（赤）が度々点灯する場合は故障の可能性があります。「■エラーについて」（P.14）をご確認ください。

※電源ランプ（緑）は常時点灯しています。

充電ランプ（だいだい）が点滅
エラーランプ（赤）が点灯

▼

「■エラーについて」
（P.14）へ

故障の可能性があります。
「■エラーについて」（P.14）を
ご確認ください。

充電方法（充電開始・充電終了）

⚠危険			
	通電中に端子部に触れないでください。 感電、誤動作の原因になります。		分解、改造は絶対に行わないでください。
	こどもなど不慣れな方だけで充電作業を行わないでください。		充電は車両の電源が切れている状態で行ってください。 故障、感電、けがの原因となります。
	充電コネクタを車両に接続したまま発車させないでください。 故障、感電、けがの原因となります。		

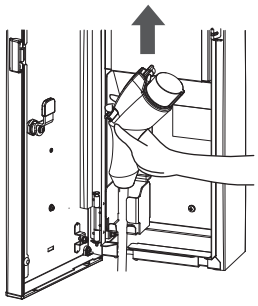
■充電量の確認方法について

本製品には、車両の充電量や充電時間を表示する機能はありません。
車両の取扱説明書をご確認ください。

1 充電開始

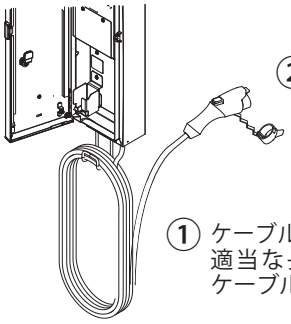
1-1 ダイヤル錠を開錠し ドアを開ける

ボデーから
充電コネクタを取外す



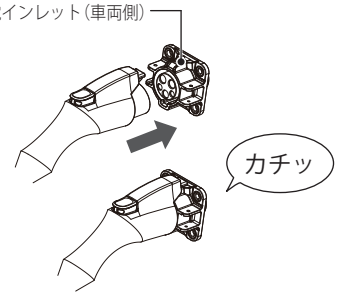
・電源ランプ、サポートランプ点灯状態です。

1-2 車両に充電コネクタを 差込む



② 充電コネクタ先端の
キャップを取外す

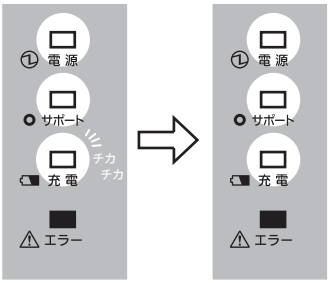
① ケーブルフックから
適当な長さの充電
ケーブルを取外す



③ ロック解除ボタン
を押さずに差込む
※車両の取扱説明書を
ご確認ください。

1-3 充電を開始する

・充電ランプが点滅から点灯状態になります。



※充電ランプが点灯状態にならない場合は、「故障かな？と思ったら」（P.14）"充電を開始しない"をご確認ください。

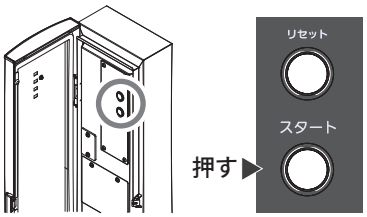
MODE２車両

何もしない

MODE２車両は、手順１－２で充電コネクタを車両に差込んだ直後から自動的に充電が開始されます。

MODE１車両

スタートボタンを押す

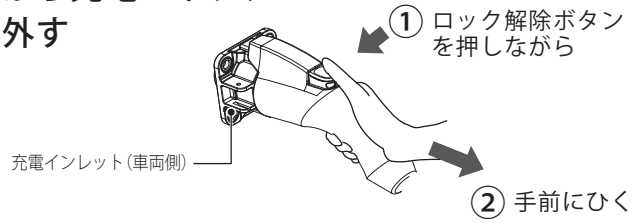


1-4 ドアを閉め、ダイヤル錠を 施錠する

充　電　中

2 充電終了

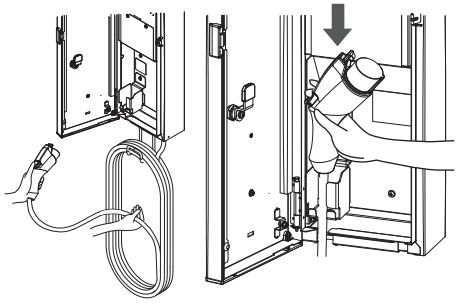
2-1 車両から充電コネクタを取外す



・車両が満充電の状態になると充電は自動で終了します。

・充電中でも充電コネクタを車両の充電インレットから外すと充電は自動で終了します。

2-2 充電ケーブルをケーブルフックに掛けるダイヤル錠を開錠しドアを開け充電コネクタを戻す



・充電ケーブルは、地面に触れないように巻きつけてください。足の引掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。

・充電ケーブルを巻きつける際は、充電ケーブルのねじれを直してから巻きつけてください。ケーブルのねじれが保持された場合、ねじれが戻らなくなることがあります。

2-3 ドアを閉めダイヤル錠を施錠する

故障かな？と思ったら

以下のことをご確認の上、" 対策・処置のしかた " をお試しください。
それでも解決しないときは「お問合わせ先」(P.20)までご連絡ください。

こんなときは	原因・調べるところ	対策・処置のしかた	参照
表示ランプ全てが点灯しない	給電元ブレーカや本製品のブレーカがOFFになっていませんか？	ブレーカをONにしてください。	—
	タイマーや外部スイッチなどの装置で電源をOFFしていませんか？	装置の設定をご確認ください。	—
	停電が発生していませんか？	停電の原因を確認して対処してください。	—
	配線や設備にトラブルが発生している可能性があります。	施工業者に連絡してください。	—
充電が開始しない（充電ランプが点灯しない）	車両にエラーが表示されていませんか？	車両の取扱説明書をご確認ください。	—
	車両に充電コネクタが確実に差込まれていますか？	車両に確実に充電コネクタを差込んでください。	P.12
	車両側がタイマー充電の設定になっていませんか？	車両の充電設定をご確認ください。	—
	充電が満タンではありませんか？	車両の充電状態をご確認ください。	—
	電源が素早くON,OFFされた可能性があります（瞬時停電など）。	給電元のブレーカを一度OFFにして、10秒以上時間をおいてからONにしてください。	—
	充電ケーブルが断線している可能性があります。	車載ケーブルなど他の充電器で充電できることを確認してください。充電できる場合は、本製品の充電ケーブルが断線している可能性があります。	—
エラーランプが点灯している	本製品がエラーを検出しています。	リセットボタンを押してもエラーランプが消えないときは、下記「■エラーについて」をご確認ください。	P.14

■エラーについて

リセットボタンを押しても充電ランプ（だいだい）とエラーランプ（赤）が消えない場合はエラー表示一覧の内容をご確認ください。

充電ランプの点滅回数でエラー内容を表示します。エラーが複数あるときは10秒間隔で順番に表示します。

エラー表示一覧

充電ランプ点滅回数	エラー名称	原因・処置
1、2回	内部リレーエラー	内部部品が破損しています。
3、4回	制御信号エラー	対象外車両が接続されている可能性があります。（改造車、規格外車両）
		大きなノイズの影響を受けた可能性があります。少し時間をおいてから再度リセットボタンを押してください。

エラーが解消されない場合は、
「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

■充電中の停電について

充電中に停電が起こった場合、充電はその時点で停止します。
復電後、自動的に再充電開始しないことがあります。

お手入れのしかた

⚠警告

⃠	**高圧洗浄は絶対にしないでください。** 感電や故障の原因になります。	❗	**充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合は、エアスプレーなどで除去してください。** 異物やほこりが付着したままご使用になりますと、感電、火災、故障の原因となります。
❗	**本製品をクリーニングする場合や、部品を交換する場合は、必ず本製品の漏電ブレーカと給電元ブレーカをOFFにし、本製品への電源供給を停止してから行ってください。** 感電や故障の原因になります。		

⚠注意

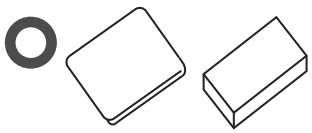
⃠	**たわしや研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。** 製品を損傷するおそれがあります。	⃠	**有機溶剤、切削油、薬品等のかかる場所または充満した場所では使用しないでください。また、本製品外装部品の耐薬品性は下表を参考にしてください。**
	クリーニングする際は、ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。 製品を損傷するおそれがあります。		
❗	**動物などの排泄物が付着した場合は、クリーニングしてください。**		
	ボデー内部に水が付着している場合は、乾いた布で拭いてください。		
	ボデー内部にごみなどがある場合は取除いてください。		

薬品など	性能	薬品など	性能	薬品など	性能
弱酸	○	アルコール	×	シンナー	×
強酸	×	ベンジン	×	四塩化炭素	×
弱アルカリ	○	ガソリン	×	油	×
強アルカリ	×	灯油	×	有機溶剤	×

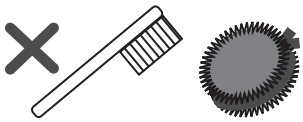
○: 実用に耐える
×: 使用に適さない
（ヒビ、割れの発生する可能性有り）

設置場所の環境条件により差が生じる場合がありますので、ご使用の際は必ず使用目的に沿った実用試験にて性能を確認してからご使用ください。故障の原因となる可能性があります。

汚れた場合は水でよくしぼったやわらかいタオル・布・スポンジなどで拭いてください。



やわらかい布・タオル・スポンジ



ブラシ・たわし類

日常点検・定期点検

安全にご使用いただくため、日常点検を定期的に行うことが必要です。下記の点検を実施してください。

日常点検（毎回）

- ●充電コネクタに割れや欠けがないか
- ●充電ケーブルに亀裂や過剰なねじれはないか
- ●充電コネクタ、充電ケーブルが異常発熱していないか
- ●充電コネクタの収納が正常にできるか（ゆるかったり、異常にかたくないか）
- ●充電コネクタに泥やほこりが付着していないか
- ●表示ランプは正常に動作しているか

定期点検（1か月に1回）

- ●破損している部分はないか
- ●製品が傾いてないか
- ●充電コネクタの差込みにガタつき、異常なかたさはないか

定期点検（2～3年に1回）

- ●漏電ブレーカのテストボタンを押したときに正常に動作（OFF）するか
  取外したメンテナンスカバーを元に戻してください。
  締付トルク：1.47 ～ 2.45N・m
- ●充電ケーブルを点検し、損傷やねじれが激しい場合は交換してください。

点検の結果、不具合をみつけたり、修理・交換が必要な場合は「お問合わせ先」（P.20）までご連絡ください。

仕様

項目		仕様
定格電圧		単相ＡＣ２００Ｖ±１０％（対地電圧ＡＣ１５０Ｖ以下）
定格周波数		５０/６０Ｈｚ
連続使用定格電流		１６Ａ
出力電力		３．２ｋＷ
外形寸法 （W×H×D）		２０５㎜×７７０㎜×１３７㎜
ケーブル長さ		約7ｍ
質量		ＥＶＰ-1ＧＴＡ：約１５ｋｇ，ＥＶＰ-1ＧＴＶＡ：約１７ｋｇ
環境	保護性能	ＩＰ４４（ケーブル入線部は除く）
	設置環境	屋内および屋外
	温度	－２０℃～＋４０℃（氷結なきこと）
接続方式		ケースＣ接続
充電モード		ＭＯＤＥ３（ＭＯＤＥ１車両対応）

品質保証

保証期間

（1）保証期間

保証期間は、お客様ご指定の場所に納入後、１年間とし、製品本体を対象とします。

（2）保証内容

保証期間中に故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を行います。
ただし、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

（1） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
（2） お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（3） 火災、地震、水害、雷害、その他の天災地変および、公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷
（4） 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（5） 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（6） 建築躯体の変形など本体以外に起因する商品の不具合
（7） 経年変化（ご使用に伴う磨耗や変色など）または経年劣化（樹脂部分の変質など）による商品の不具合

メモ

メモ

メモ

お問合わせ先

故障・修理については、下記へお問合わせください。

日東工業サポートデスク（充電関連製品）　**03-5641-2106**

受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
この説明書の内容は 2015 年 7 月現在のものです。

B200212920

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
http://www.nito.co.jp